

# 9月の相談

日 開催日      時 時間      所 場所  
 予 予約受付      問 問い合わせ先

## 法律相談 (要予約) 4日(木)

時 13:30~16:30 所 市役所1階 市民相談室  
 予 1カ月前から 問 市民生活課 ☎22-1116  
 ※内容により、お受けできない場合があります。

## 行政相談 9日(火)

時 9:30~11:30 所 市役所1階 市民相談室  
 問 市民生活課 ☎22-1116

## 司法書士による法律相談 26日(金)

時 14:00~16:00 所 ひまわり会館1階  
 問 市民生活課 ☎22-1116

## 消費生活相談 平日開館

時 9:30~16:30 所 消費生活センター  
 問 消費生活センター ☎24-3251

## 特設人権相談 10日(水)

時 13:30~16:00 所 見能林公民館、福井公民館  
 問 人権・男女参画課 ☎22-3094

## 人権相談 30日(火)

時 13:30~16:00 所 ひまわり会館1階  
 問 人権・男女参画課 ☎22-3094

## 女性の生き方なんでも相談 (要予約)

日 2・9・16・30日 時 13:00~17:00  
 日 12・26日 時 13:00~16:00  
 所 市民会館2階 相談室 予 随時  
 問 男女共同参画室分室 ☎22-0361

## 年金相談 (要予約) 4日(木)

時 9:00~15:30 所 市商工業振興センター  
 予 1カ月前から電話による完全予約制  
 問 徳島南年金事務所 ☎088-652-1511  
 ※10月の相談日はありません。

## 子育て家庭教育電話相談 (来所相談も可)

日 月曜日~金曜日 (祝日除く) 時 9:00~12:00  
 問 家庭教育支援チーム「育みクラブ」 ☎42-3885

## 心配ごと相談 1日(月)、8日(月)、22日(月)、29日(月)

時 10:00~15:00 所 市民会館内社会福祉協議会  
 問 社会福祉協議会 ☎23-7288

## 9月の休日・夜間診療

軽症でも急いで治療の必要がある場合、次の医療機関で受診できます。

### ●休日昼間 9:00~17:00

日	医療機関名	所在地	問い合わせ先
7日	村上内科外科医院	那賀川町	☎42-3110
14日	岩城クリニック	学原町	☎23-5600
15日	松崎内科医院	中大野町	☎23-5778
21日	阿南医師会中央病院内	宝田町	☎22-1313
23日	益崎胃腸科内科医院	那賀川町	☎42-0022
28日	けんなんメンタルクリニック	日開野町	☎23-6522

※市内の休日医療機関は、変更される場合がありますので、阿南市医師会 (☎22-1313) までお問い合わせください。

### ●夜間(毎日)の当番 17:00~22:00

市内の医療機関または阿南医師会中央病院内  
 ※阿南市医師会 (☎22-1313) までお問い合わせください。

### ●小児救急医療体制

24時間365日徳島赤十字病院が小児救急患者を受け入れています。(事前の電話連絡は不要です。)

## 9月の市税

- 固定資産税 (第3期)
  - 国民健康保険税 (第4期)
- 納期限は、9月30日(火)です。納め忘れのないようにしましょう。

日曜相談窓口 28日(日) 8:30~17:00 (市役所1階納税課)

市税の納付および分納等の納税(納付)相談を受け付けています。

問い合わせ先 納税課 (☎22-1792) へ

## 9月の平日延長窓口

3日(水)・17日(水) 17:15~18:15 市役所本庁1階

●住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本、身分証明書の交付  
 (※時間延長時は、住民異動・印鑑登録・住基カードの発行等は行っていません)  
 市民生活課 (☎22-1116) へ

●納税相談 納税課 (☎22-1792) へ

## スポーツ施設9月の休館日

スポーツ総合センター(温水プール)	1・8・16・22・29日
那賀川スポーツセンター	3・10・17・24日
羽ノ浦総合国民体育館	1・8・16・22・29日
羽ノ浦健康スポーツランド	1・8・16・22・29日
県南部健康運動公園	2・9・16・24・30日

## 人口と世帯数

人口 76,345人 (-24)      世帯数 30,166世帯 (+14)  
 (男) 36,787人 (-18)  
 (女) 39,558人 (-6)

※平成26年7月末日現在  
 カッコ内は前月対比



雨にたたられた夏でした。被災された皆様から心からお見舞い申し上げます。そして、一日も早い再建を願っています。さて、1974(昭和49)年9月号から始まった「リレー随筆」が、今月で480人に到達しました。40年もの間、途切れることなく市民から市民へとバトンが受け継がれてきました。日常の出来事や思い出などがつづられ、心温まるコーナーとして人気です。ちなみに最初の方は竹田玉田さん(椿泊町)で、「おもいで」でした。(山田) 重なる台風被害の爪痕を目の当たりにし、被災された方々の生活を思うと、とても心が痛みます。近い将来には南海トラフ巨大地震も想定されていますが、前もって自宅や職場に応じた避難場所を考えることが大切。津波防災マップなどを参考に、皆さんも確認しておきましょう。(相田)